

平成27年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月26日

上場会社名 マルサンアイ株式会社 上場取引所 名  
 コード番号 2551 URL http://www.marusanai.co.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)伊藤明德  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理統括部長 (氏名)渡辺邦康 (TEL) (0564)-27-3700  
 四半期報告書提出予定日 平成27年1月30日 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年9月期第1四半期の連結業績(平成26年9月21日～平成26年12月20日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第1四半期	6,134	3.8	236	81.7	330	99.9	231	134.9
26年9月期第1四半期	5,909		130		165		98	

(注) 包括利益 27年9月期第1四半期 235百万円(135.3%) 26年9月期第1四半期 100百万円(47.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第1四半期	20 17	
26年9月期第1四半期	8 59	

(注) 平成26年9月期第1四半期の対前年同四半期増減率は、表示方法の変更に伴い遡及適用が行われたため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年9月期第1四半期	17,419	3,400	19.4
26年9月期	16,664	3,243	19.3

(参考) 自己資本 27年9月期第1四半期 3,371百万円 26年9月期 3,405百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期		0 00		6 00	6 00
27年9月期					
27年9月期(予想)		0 00		6 00	6 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年9月期の連結業績予想(平成26年9月21日～平成27年9月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,380	2.5	68	14.3	38	52.1	21	49.7	1 84
通期	23,492	5.7	397	16.5	365	15.5	256	47.5	22 36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- 以外の会計方針の変更 : 無
- 会計上の見積りの変更 : 無
- 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年9月期1Q	11,480,880株	26年9月期	11,480,880株
期末自己株式数	27年9月期1Q	4,453株	26年9月期	3,753株
期中平均株式数（四半期累計）	27年9月期1Q	11,476,504株	26年9月期1Q	11,477,216株

### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	4
4. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成26年9月21日～平成26年12月20日)におけるわが国経済は、政府による経済政策や金融政策等を背景に円安及び株価の上昇など景気回復の兆しが見られたものの、海外の経済情勢が不安定であり、先行きは不透明な状況となっております。

食品業界におきましては、世界的な穀物価格の高止まりに加え、円安による輸入原材料や包材価格の上昇等により、一部商品を値上げする動きが見られます。

みそ業界におきましては、食の多様化による出荷数量の減少が続いております。

豆乳業界におきましては、健康志向の高まりを背景に、市場は底堅く推移しています。

このような環境の中で、当社は消費者の皆様方に安全で安心できる製品の提供に努めるとともに、事業の効率化やコスト削減に努め、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は、61億34百万円(前年同期比3.8%増)、営業利益は、2億36百万円(前年同期比81.7%増)、経常利益は、3億30百万円(前年同期比99.9%増)、四半期純利益は、2億31百万円(前年同期比134.9%増)となりました。

#### みそ事業

生みそ、調理みそ、即席みそが減少したため、売上高は、12億80百万円(前年同期比6.8%減)となりました。

##### a. 生みそ

販売単価が上昇したものの、出荷数量が減少したため、売上高は、10億51百万円(前年同期比5.6%減)となりました。

##### b. 調理みそ

汎用性の調理みそが減少したため、99百万円(前年同期比21.2%減)となりました。

##### c. 即席みそ

フリーズドライの製品の出荷が増加したものの、特定企業向けの製品の出荷が減少したため、売上高は、1億29百万円(前年同期比2.6%減)となりました。

#### 豆乳飲料事業

豆乳及びアーモンド飲料が堅調に推移し、売上高は、42億31百万円(前年同期比8.2%増)となりました。

なお、持分法適用関連会社のアメリカン・ソイ・プロダクツ INC.につきましては、持分法による投資利益9百万円を営業外収益に計上しております。

##### a. 豆乳

海外向け製品及びカロリーオフ豆乳等が堅調に推移し、売上高は、34億62百万円(前年同期比10.4%増)となりました。

##### b. 飲料

アーモンド飲料が堅調に推移したものの、飲料の出荷が減少したため、売上高は、7億69百万円(前年同期比0.9%減)となりました。

#### その他食品事業

鍋スープ市場の競争激化により、出荷量が減少したため、売上高は、6億18百万円(前年同期比0.2%減)となりました。

当第1四半期連結会計期間より、その他食品事業に、鍋スープ、チルド食品を集約いたしました。従来は、鍋スープは、調理みそ、豆乳及びその他食品事業に分類されており、チルド食品は、豆乳及びその他食品事業に分類されておりました。なお、上記の売上高の前年同期比につきましては、前連結会計年度、当連結会計年度ともに組換え後の売上高により計算しております。

## (2) 財政状態に関する説明

### 資産

流動資産は、94億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億25百万円増加いたしました。増加の主な要因といたしましては、受取手形及び売掛金の増加2億18百万円、現金及び預金の増加1億93百万円、商品及び製品の増加44百万円、その他に含まれる前渡金の増加1億10百万円等によるものであります。

固定資産は、80億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ42百万円減少いたしました。減少の主な要因といたしましては、投資有価証券の増加10百万円等があったものの、機械装置及び運搬具の減少87百万円等によるものであります。

この結果、資産合計は、174億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億82百万円増加いたしました。

### 負債

流動負債は、91億38百万円となり、前連結会計年度末に比べ5百万円減少いたしました。減少の主な要因といたしましては、支払手形及び買掛金の増加3億14百万円等があったものの、賞与引当金の減少1億53百万円、訴訟損失引当金の減少1億3百万円、未払金の減少66百万円、未払法人税等の減少43百万円等によるものであります。

固定負債は、48億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億20百万円増加いたしました。増加の主な要因といたしましては、長期借入金の増加4億34百万円、退職給付に係る負債の増加1億83百万円等によるものであります。

この結果、負債合計は、140億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億14百万円増加いたしました。

### 純資産

純資産合計は、34億円となり、前連結会計年度末に比べ32百万円減少いたしました。減少の主な要因といたしましては、利益剰余金の減少35百万円等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年9月期の連結業績予想につきましては、表示方法の変更に伴い、平成26年11月4日に公表いたしました連結業績予想に記載された内容から一部変更しております。なお、変更の理由につきましては、P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」の「(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号平成24年5月27日。以下、「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号平成24年5月17日。以下、「退職給付適用指針」という。)を退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、割引率の決定方法について、期末日時点における従業員の平均残存勤務年数に相当する国債利回りに基づく方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、割引率の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が198,202千円増加し、利益剰余金が同額減少しております。

(追加情報)

(表示方法の変更)

従来、「営業外収益」に計上しておりました「技術指導料」及び「受取ロイヤリティー」につきましては、当第1四半期連結会計期間より、「売上高」に含めて計上することに変更しました。

また、「流動資産」の「その他」に計上していた未収技術指導料及び「固定資産」の「投資その他の資産」の「その他」に計上していた未収技術指導料を「受取手形及び売掛金」へ組替えております。

この変更は、今後主に海外において、豆乳の製造に係る技術指導や当社の商標を使用した豆乳の製造販売を積極的に展開することを事業方針としており、当社事業における技術供与の重要性が増していることから、当社の営業活動の成果をより適切に表示するために行うものであります。

この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表及び前第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前連結会計年度の連結貸借対照表において「流動資産」の「その他」に表示していた未収技術指導料4,747千円及び「固定資産」の「投資その他の資産」の「その他」に表示していた未収技術指導料10,000千円を「受取手形及び売掛金」に組替え、前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において「営業外収益」の「技術指導料」に表示していた受取技術料4,139千円を「売上高」に組替え、営業利益が4,139千円増加しておりますが、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年12月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,031,267	2,225,151
受取手形及び売掛金	3,710,504	3,928,809
商品及び製品	694,102	738,933
仕掛品	534,963	517,951
原材料及び貯蔵品	433,968	471,075
その他	1,386,568	1,533,946
貸倒引当金	1,596	996
流動資産合計	8,789,779	9,414,872
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,572,830	2,533,008
機械装置及び運搬具(純額)	1,939,311	1,852,133
土地	2,598,429	2,598,429
その他(純額)	49,793	49,735
有形固定資産合計	7,160,365	7,033,307
無形固定資産	214,417	211,897
投資その他の資産		
投資有価証券	481,771	492,364
その他	201,996	278,505
貸倒引当金	11,004	11,016
投資その他の資産合計	672,764	759,854
固定資産合計	8,047,547	8,005,059
資産合計	16,837,326	17,419,931

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年12月20日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	3,099,301	3,413,811
1年内返済予定の長期借入金	2,268,482	2,229,496
未払法人税等	144,827	100,997
賞与引当金	311,450	158,409
未払金	2,841,791	2,775,259
訴訟損失引当金	103,880	-
その他	374,712	460,523
流動負債合計	9,144,445	9,138,497
<b>固定負債</b>		
長期借入金	2,736,111	3,170,224
退職給付に係る負債	1,203,120	1,386,504
資産除去債務	205,652	206,453
その他	115,636	118,140
固定負債合計	4,260,521	4,881,323
負債合計	13,404,966	14,019,820
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	865,444	865,444
資本剰余金	635,039	635,039
利益剰余金	1,840,151	1,804,595
自己株式	1,720	2,081
株主資本合計	3,338,915	3,302,997
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	12,318	13,395
為替換算調整勘定	38,883	33,654
退職給付に係る調整累計額	93,088	88,528
その他の包括利益累計額合計	66,523	68,269
少数株主持分	26,921	28,843
純資産合計	3,432,360	3,400,110
負債純資産合計	16,837,326	17,419,931



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年9月21日 至平成25年12月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年9月21日 至平成26年12月20日)
売上高	5,909,177	6,134,783
売上原価	4,346,489	4,472,236
売上総利益	1,562,688	1,662,547
販売費及び一般管理費	1,432,280	1,425,608
営業利益	130,408	236,939
営業外収益		
受取利息	277	288
不動産賃貸収入	5,812	5,812
持分法による投資利益	-	9,033
デリバティブ評価益	39,678	122,873
その他	20,151	8,364
営業外収益合計	65,920	146,372
営業外費用		
支払利息	12,154	11,408
シンジケートローン手数料	-	31,252
持分法による投資損失	12,651	-
債権売却損	4,357	4,331
為替差損	1,258	5,099
その他	422	397
営業外費用合計	30,844	52,490
経常利益	165,483	330,821
特別利益		
固定資産売却益	129	-
特別利益合計	129	-
特別損失		
固定資産除却損	6,658	1,795
特別損失合計	6,658	1,795
税金等調整前四半期純利益	158,954	329,025
法人税等	59,152	96,549
少数株主損益調整前四半期純利益	99,801	232,476
少数株主利益	1,248	967
四半期純利益	98,552	231,508

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年9月21日 至平成25年12月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年9月21日 至平成26年12月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	99,801	232,476
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,978	1,077
退職給付に係る調整額	-	4,560
為替換算調整勘定	569	9,941
持分法適用会社に対する持分相当額	9,880	3,320
その他の包括利益合計	332	3,137
四半期包括利益	100,133	235,613
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	98,973	233,254
少数株主に係る四半期包括利益	1,160	2,359

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 平成25年9月21日 至 平成25年12月20日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年12月5日 定時株主総会	普通株式	74,601	6.50	平成25年9月20日	平成25年12月6日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成26年9月21日 至 平成26年12月20日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年12月11日 定時株主総会	普通株式	68,862	6.00	平成26年9月20日	平成26年12月12日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成25年9月21日 至 平成25年12月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	合計
	みそ事業	豆乳飲料事業	その他食品 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,351,106	3,911,770	642,161	5,905,037	4,139	5,909,177
セグメント間の内部売上高 又は振替高						
計	1,351,106	3,911,770	642,161	5,905,037	4,139	5,909,177
セグメント利益	238,551	694,268	86,058	1,018,879	4,139	1,023,018

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、技術指導料及び受取ロイヤリティーを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,018,879
「その他」の区分の利益	4,139
全社費用(注)	892,610
四半期連結損益計算書の営業利益	130,408

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

当第1四半期連結累計期間(自平成26年9月21日 至 平成26年12月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	合計
	みそ事業	豆乳飲料事業	その他食品事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,280,557	4,231,603	618,620	6,130,782	4,001	6,134,783
セグメント間の内部売上高 又は振替高						
計	1,280,557	4,231,603	618,620	6,130,782	4,001	6,134,783
セグメント利益	198,638	854,619	87,397	1,140,655	4,001	1,144,656

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、技術指導料及び受取ロイヤリティーを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,140,655
「その他」の区分の利益	4,001
全社費用(注)	907,717
四半期連結損益計算書の営業利益	236,939

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(1) 表示方法の変更

従来、「営業外収益」に計上しておりました「技術指導料」及び「受取ロイヤリティー」につきましては、当第1四半期連結会計期間より、「売上高」に含めて計上することに変更しました。

この変更は、今後、主に海外において、豆乳の製造に係る技術指導や当社の商標を使用した豆乳の製造販売を積極的に展開することを事業方針としており、当社事業における技術供与の重要性が増していることから、当社の営業活動の成果をより適切に表示するために行うものであります。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報につきましては、変更後の数値を用いて作成したものを記載しております。

(2) セグメント区分の変更

従来、「みそ事業」「豆乳飲料事業」「その他食品事業」のそれぞれに計上していた鍋製品及び「豆乳飲料事業」に計上していたチルド製品を「その他食品事業」へ含めて計上することに変更しました。

この変更は、品目毎の営業成績をより確実にとらえていくために行うものであります。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報につきましては、変更後の数値を用いて作成したものを記載しております。